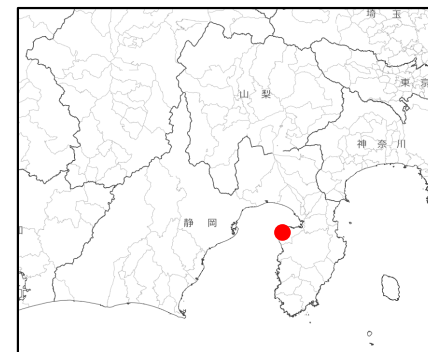


静岡県沼津市戸田漁港 P R 資料

【地区の概要】

- 戸田漁港は沼津市の南部、伊豆半島西伊豆に位置し、駿河湾に面し、古くからの良港として知られる第二種漁港である。地区は古くから漁業の街として、良質な魚介類を求める観光・宿泊業が栄えた。最盛期の戸田地区の人口は5,000人を超えたが、人口減少や高齢化の影響などにより2,500人を下回る状況にある。
- 三方が山に囲まれていることから、海路による新たな来訪を期待する住民も多くプレジャーボートやヨット、定期船誘致に向けた体制の構築が望まれる。



【戸田地区の魅力・地域資源・遺産・公園】

①UNESCO 世界ジオパーク「御浜岬」

- 鳥のくちばしのような御浜岬は駿河湾の海流に運ばれた土砂が、湾の入り口部分に帯状にたまってできた砂嘴と呼ばれる地形。

②沼津御用邸記念公園

- 沼津御用邸は、皇室の別邸として明治・大正・昭和の三代に渡り使用された。昭和45年から記念公園として附属邸や苑地が一般に公開されている。

③大瀬神社

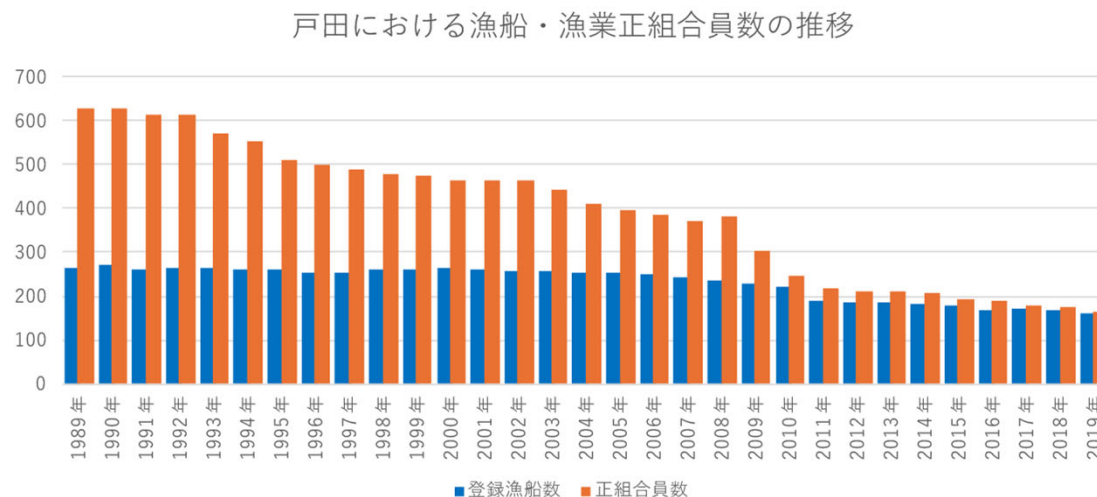
- 駿河湾漁民の信仰の象徴である大瀬神社は海の守護神として知られている。古くから漁民の描いた絵馬や漁船模型が多数奉納されており、県の指定有形民俗文化財に指定されている。

④松城家住宅

- 江戸時代から廻船業で財を成した松城家の居宅として明治6年に棟上げされた。建築様式は幕末から明治初期のわずかな期間にのみ建築された擬洋風建築で、日本に現存する擬洋風建築の中でも最初期のものとして重要文化財に指定されている。

【漁業の状況】

- 戸田港においては、登録漁船隻数が1989年の264隻→2019年の30年で160隻、漁業従事者も共に約7割減少している。



- 戸田漁港を利用している漁船隻数は160隻、属人漁獲量は70,218トン、属地陸揚量は8トンとなっている。漁業種類別陸揚量は小型底びき網が最多の5.8トン、次いでその他刺網が1.1トンである。魚種別陸揚量は、その他のえび類が2.9トン、その他の魚類が1.8トンと続いている。

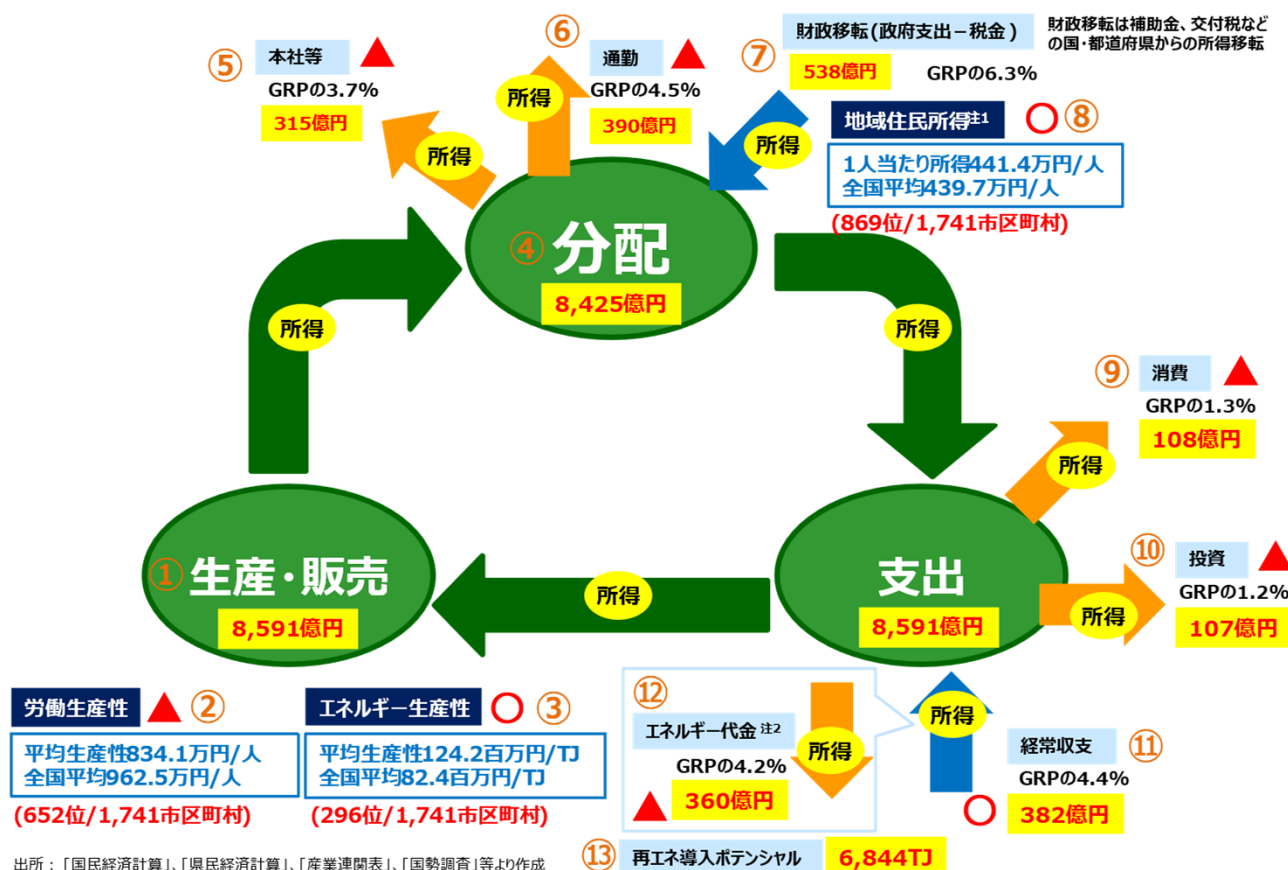
【背後集落の状況】

- 2019年時点の漁港地区人口は2,691人、組合員総数は777人である。
- 背後集落について、集落人口は平成24年の3,263人から令和4年の2,435人と、3割減となっている。漁家世帯数は平成24年の212軒から令和4年の155軒と3割減になり、漁業就業者数も212人から155人と、3割減となっている。
- 人口推計（一次式で予測）からは、漁家世帯数は10年後に124軒、20年後には92軒になる。一次式で高齢化率を見た場合、10年後は65.5%であり、令和4年より10.1%増加しており、20年後は74.8%であり、令和4年度より19.4%増加する予想となっている。漁業者の減少と高齢化は顕著であり、喫緊で持続策を講じる必要がある。

【地域経済】

- 生産・販売は、全体で8,591億円の収入があり、そのうち労働生産性は全国平均と比較すると低くなっているが、エネルギー生産性は124.2百万円/TJと全国平均より約42百万円/TJ多い。
- 分配は、全体で8,425億円の収入があり、そのうち財政移転が538億円の収入がある。また、通勤で390億円、本社等が沼津市でない企業への流入が315億円あり、明和の地域住民所得は1人あたり441.4万円と全国平均より高い結果となっている。
- 支出は、全体8,591億円であり、そのうち経常収支は382億円の収入がある一方で、消費、投資、経常収支、エネルギー代金は明和町以外に多くの支出が発生していることがわかる。

地域の所得循環構造



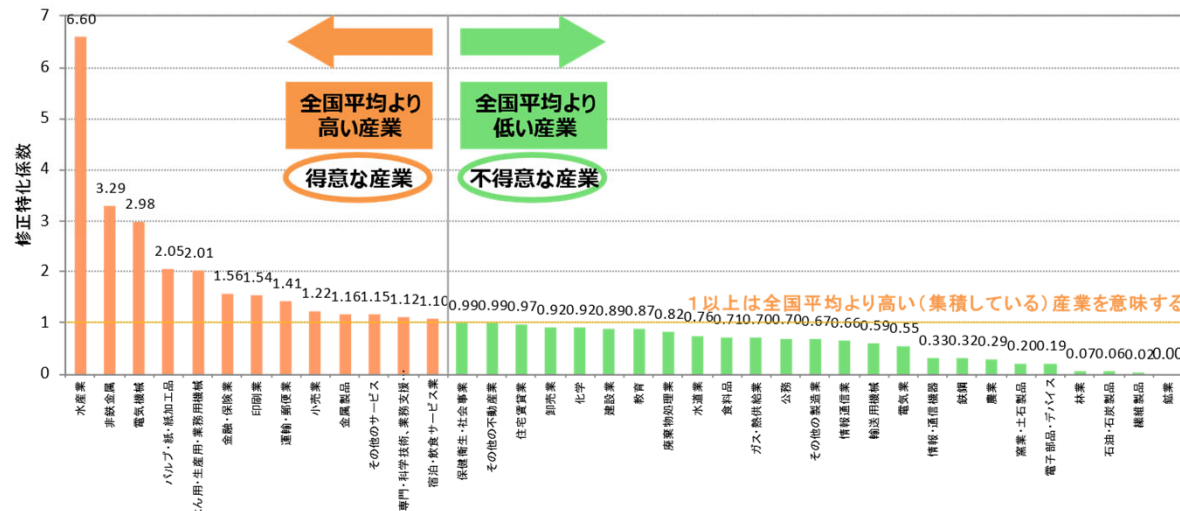
注1) 地域住民所得は、夜間人口1人当たりの所得＝雇用者所得+その他所得を意味する。
注2) エネルギー代金の収支は経常収支の内数であり、原材料利用や本社・営業所等の活動(非エネルギー)は含まれない。※Ver5.0までは含まれる

沼津市 戸田漁港の概要

【地域経済】

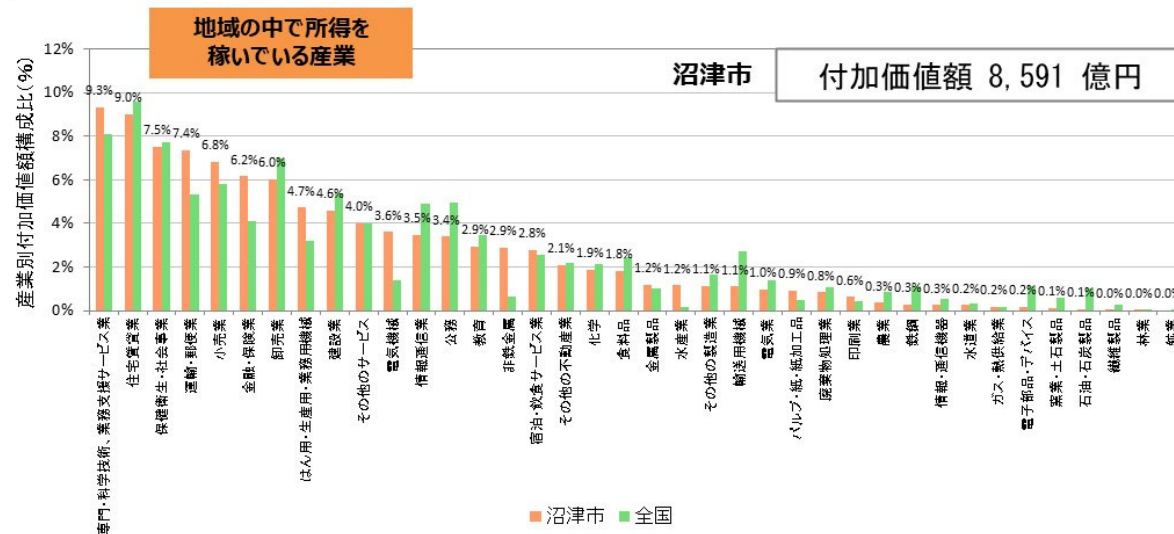
- 沼津市は、水産業が突出するほか、非鉄金属、電気機械に比較的優位性があり、付加価値額構成比は、専門・科学技術、業務支援サービス業、住宅賃貸業、保健衛生・社会事業、運輸・郵便業が上位である。

産業別修正特化係数（生産額ベース）



- 生産額ベースでの産業別修正特化係数で見ると、沼津市の水産業は市内産業の中で最も高い。

産業別付加価値額構成比

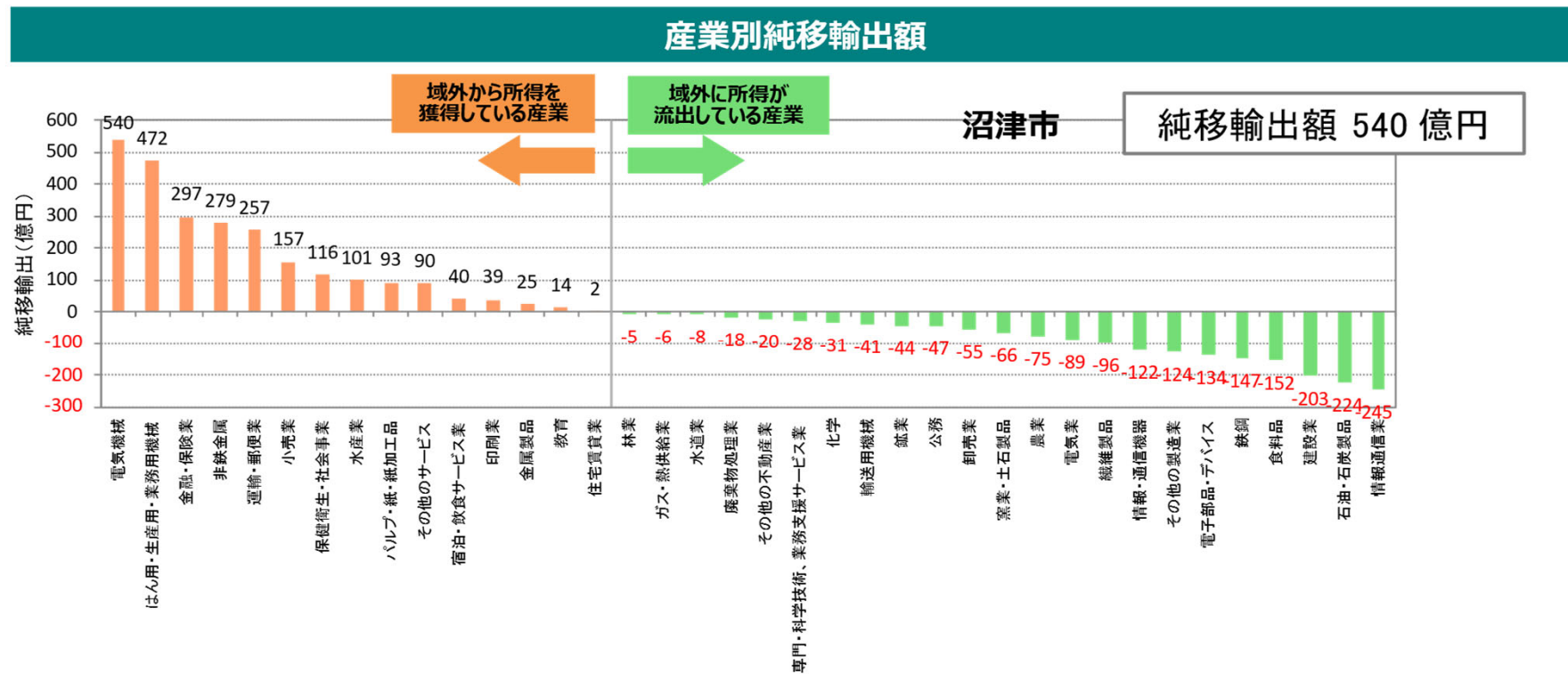


- 産業別付加価値額構成比では、水産業が1.2%である。

沼津市 戸田漁港の概要

【地域経済】

- 域外から所得を獲得している産業は電気機械、はん用・生産用・業務用機械、金融・保険業、非鉄金属、運輸・郵便業等である。これらは、域内での生産額が大きい産業であり、地域で強みのある産業といえる。

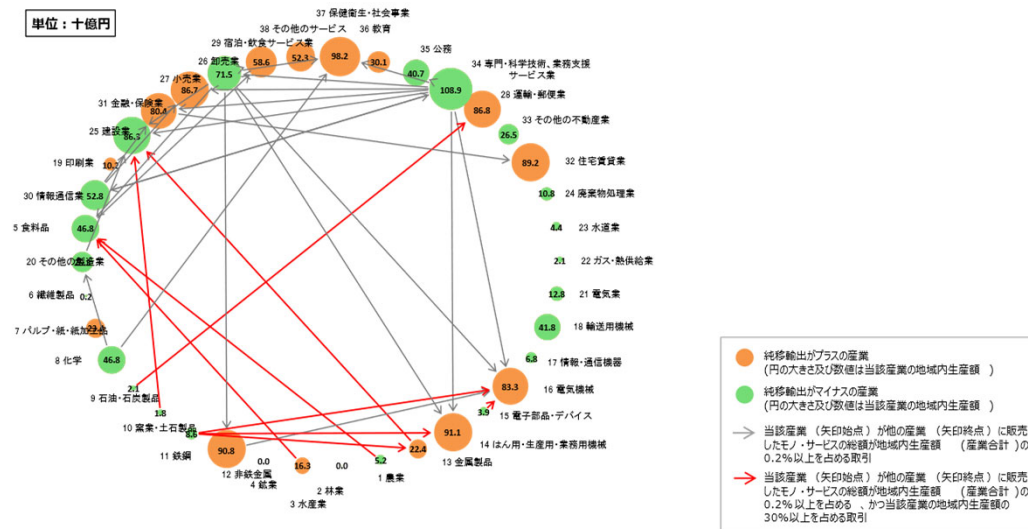


沼津市 戸田漁港の概要

【地域経済】

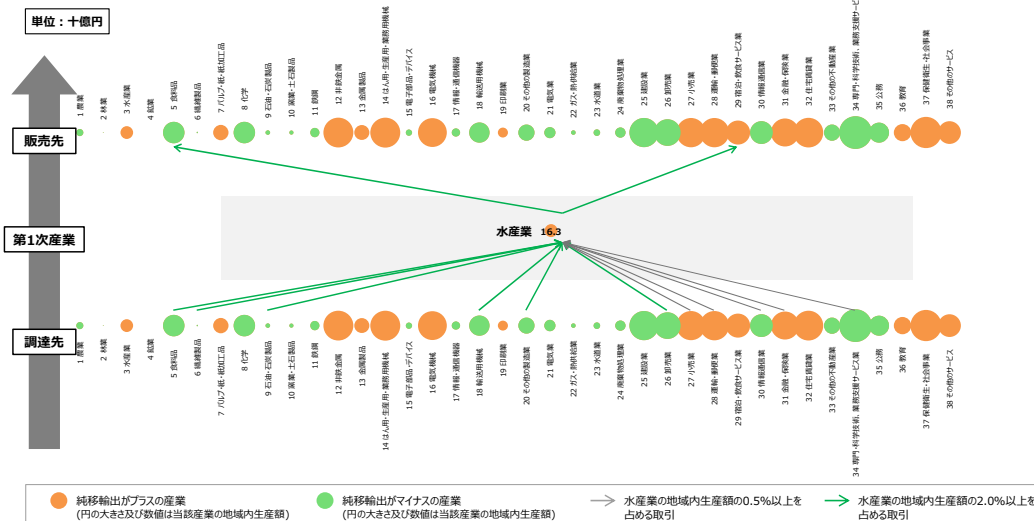
- 沼津市の水産業の場合、食料品が地域の経済規模に占める割合が大きい産業となっている。また、沼津市の水産業は生産額163億円、純移輸出がプラスとなっており、地域内の需要を域内の生産で賄うことができている。

地域の主要な産業間取引構造



- 沼津市の水産業は食料品、繊維産業、化学、輸送用機械、その他製造業、卸売業等からの調達が多く、食料品、宿泊・飲食サービス業への販売が多く、それらの産業の純移輸出はプラスとなっている。
- 沼津市の水産業は、地域内の食料品や製造業から養殖魚の飼料や漁業で用いる道具を調達し、水産物を地域内の飲食店等へ販売するといったサプライチェーンを構築している可能性があり、さらに宿泊・飲食サービス業は域外からも稼ぐ力を持っていると考えられる。

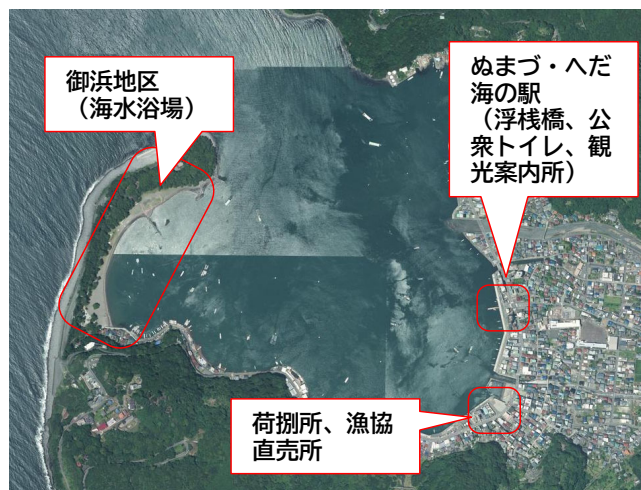
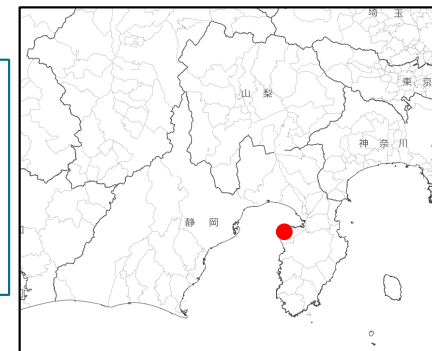
「水産業」に着目した主要な取引構造



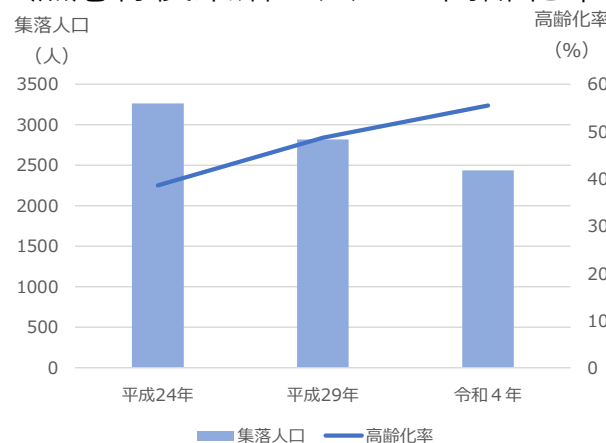
海業の事業計画骨子（案）【静岡県沼津市 戸田漁港】

現状と課題

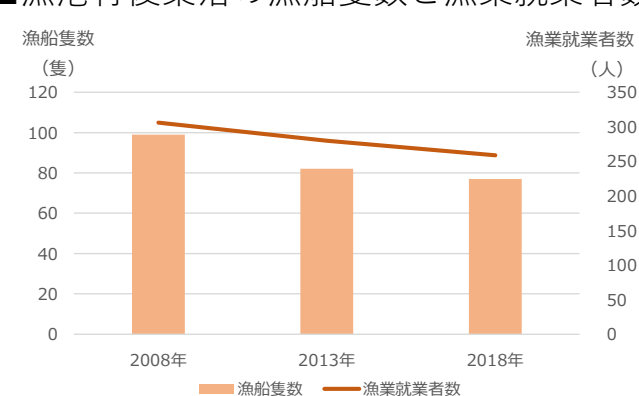
- 伊豆半島西伊豆に位置し、駿河湾と湾内を嘴の岬が特徴的な第二種漁港で古くから漁業の街として栄え、良質な魚介類から観光・宿泊業が栄え。最盛期の戸田地区の人口は5,000人を超えたが、人口減少や高齢化の影響などにより2,500人を下回る状況にある。
- 三方が山に囲まれていることから、海路による新たな来訪を期待する住民も多く、プレジャーボートやヨット、定期船誘致に向けた体制の構築が望まれる。



漁港背後集落の人口と高齢化率



漁港背後集落の漁船隻数と漁業就業者数



検討体制

戸田漁港を核とした
地域の振興について
考える懇談会

地域としての
意見提示

協議内容共有

戸田地域振興協議会

[メンバー]
・戸田観光協会
・沼津市観光戦略課、水産海浜課
・静岡県水産振興課、港湾企画課、沼津土木事務所、水産・海洋技術研究所
・戸田漁業協同組合
・沼津市商工会戸田支所

[メンバー]
・戸田地区連合自治会
・戸田市議
・戸田漁業協同組合
・富士伊豆農業協同組合
・道の駅くるら戸田
・戸田観光協会
・沼津市商工会

海業の事業計画骨子（案）【静岡県沼津市 戸田漁港】

3. 海業の方針

令和5年度調査当時の内容であり、決定事項ではありません。

- 古くから漁港として漁業利用に限った活用がされてきた中で、海の駅としての認定がなされた。
- 地域の観光事業への波及を期待したPB、マリンレジャーでの漁港活用とそのためルール設定を図ること
で、漁業を核に、地域の観光産業の持続、地域コミュニティの維持に努める。

【取組】

- ①海の駅認定による「マリンチック街道」の登録と活用（PB受入の実証実験を経て、海の駅認定済）
- ②漁港におけるプレジャーボートやヨットの受入れ、大型クルーズ船招致（浮棧橋を活用したPB受入れの事業化）
- ③海の駅を活用したヨットレース等の開催による地域振興（既存のヨットレースの拡充や新規企画等を検討）
- ④漁協直売所、御浜地区海水浴場を活用した新規事業

4. 海業の具体的な取組・実施主体（案）・期待される効果

①海の駅認定による「マリンチック街道」の登録と活用（戸田観光協会他）

- ・海の駅認定に加えて、発信力の強化

【期待される効果】

- 海からの来訪者数の増加

②漁港におけるプレジャーボートやヨット、大型クルーズ船招致（戸田観光協会他）

- ・浮棧橋を活用したPB受入れの事業化

【期待される効果】

- 海からの来訪者数の増加
- 地産の水産物消費拡大
- 周辺飲食店・宿泊施設への経済波及

③海の駅を活用したヨットレース等の開催による地域振興（戸田観光協会他）

- ・既存のヨットレースの拡充や新規企画等検討

【期待される効果】

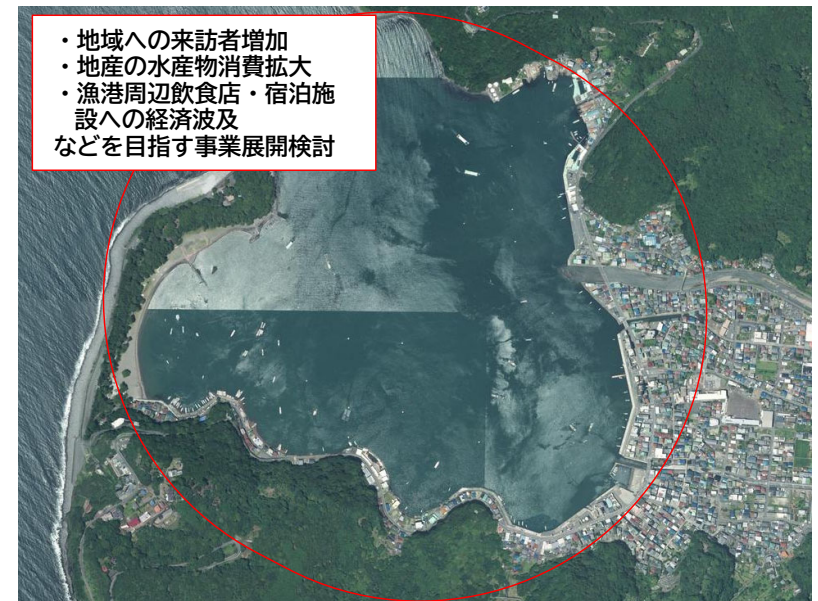
- 周辺飲食店・宿泊施設への経済波及

⑤他、漁港エリアでの事業検討

- ・戸田地区としての新たな事業展開を検討

【期待される効果】

- 地域への来訪者増加
- 地産の水産物消費拡大
- 周辺飲食店・宿泊施設への経済波及



海業で実施する事業の内容と体制案

①中央栈橋周辺での事業充実

令和5年度調査当時の内容であり、決定事項ではありません。

●海の駅認定による「マリンチック街道」の登録と活用 (事業主体：戸田観光協会他)

- ・海の駅認定に加えて、発信力の強化

【期待される効果】

- 海からの来訪者数の増加

●漁港におけるプレジャーボートやヨット、大型クルーズ船招致 (事業主体：戸田観光協会他)

- ・浮栈橋を活用したPB受入れの事業化
- ・浮栈橋増設の検討

【期待される効果】

- 海からの来訪者数の増加
- 地産の水産物消費拡大
- 周辺飲食店・宿泊施設への経済波及

●海の駅を活用したヨットレース等の開催による地域振興 (事業主体：戸田観光協会他)

- ・既存のヨットレースの拡充や新規企画等検討

【期待される効果】

- 周辺飲食店・宿泊施設への経済波及

《取扱商品、サービスのセールスポイント》

- ・ヨットレースの開催などのイベントの実施／栈橋隣接の店舗での飲食サービスの提供／飲食店・宿泊施設の利用

《販売ターゲット、見込客数、販売戦略》

- ・首都圏住民をメインターゲット／ヨット愛好家／クルーズ船利用者

《競合・市場など企業を取り巻く状況》

- ・駿河湾沿岸のプレジャーボート受入れ港との連携



海業で実施する事業の内容と体制案

②漁協直売所周辺での事業充実

令和5年度調査当時の内容であり、決定事項ではありません。

●建て替えた漁協直売所と合わせた新たなサービス (事業主体：戸田漁協等)

- ・直売所充実
- ・イベントの充実
- ・魚食教育・サービスの展開
- ・漁業関連施設・漁船見学などのコンテンツ

【期待される効果】

- 地域への来訪者増加
- 地産の水産物消費拡大
- 周辺飲食店・宿泊施設への経済波及

《取扱商品、サービスのセールスポイント》

- ・戸田の港である鮮度の高い水産物の提供
- ・ここでしか食すことができない希少価値の高い深海魚
- ・体験とあわせた提供による知的満足度の高いサービスの提供

《販売ターゲット、見込客数、販売戦略》

- ・ヨット、クルーズ船などプレジャーボート利用者
- ・タカアシガニをはじめとする戸田の水産物を求める首都圏等からの来訪者（日帰りおよび宿泊客）
- ・教育旅行の利用
- ・若者グループによる海水浴来訪、ドライブ立ち寄り地としての来訪

《競合・市場など企業を取り巻く状況》

- ・漁業活力のある港でのほんものの魚、ほんものの体験を提供できる漁港としての差別化が可能
- ・漁業の価値に加えて海・山の自然、戸田の歴史的価値を加え、小さな港街として魅力が集約された強みを活用。



海業で実施する事業の内容と体制案

③御浜エリア

令和5年度調査当時の内容であり、決定事項ではありません。

●御浜地区海水浴場を活用した新規事業 (事業主体：漁協、民間事業者等)

- ・BBQ、デイキャンプ事業
- ・東京大学との連携によるフィールドスタディ展開
- ・利用可能水域の設定によるアクティビティの検討（周辺での係留する漁船との調整のもとで）など
- ・漁船安全係留、活用水域の確保のためにも漁船係留箇所の再検討（係留箇所の整序、浮桟橋の設置など）

【期待される効果】

- 地域への来訪者増加
- 地産の水産物消費拡大
- 周辺飲食店・宿泊施設への経済波及

≪取扱商品、サービスのセールスポイント≫

- ・戸田で水揚げされる水産物の価値
- ・風光明媚な漁港景観、富士山の景観
- ・漁業者による安全管理体制など、安全性の確保
- ・海の駅、周辺の飲食・宿泊施設との連動によるサービス提供

≪販売ターゲット、見込客数、販売戦略≫

- ・ヨット、クルーズ船などプレジャーボート利用者
- ・タカアシガニをはじめとする戸田の水産物を求める首都圏等からの来訪者（日帰りおよび宿泊客）
- ・教育旅行の利用
- ・若者グループによる海水浴来訪、ドライブ立ち寄り地としての来訪

≪競合・市場など企業を取り巻く状況≫

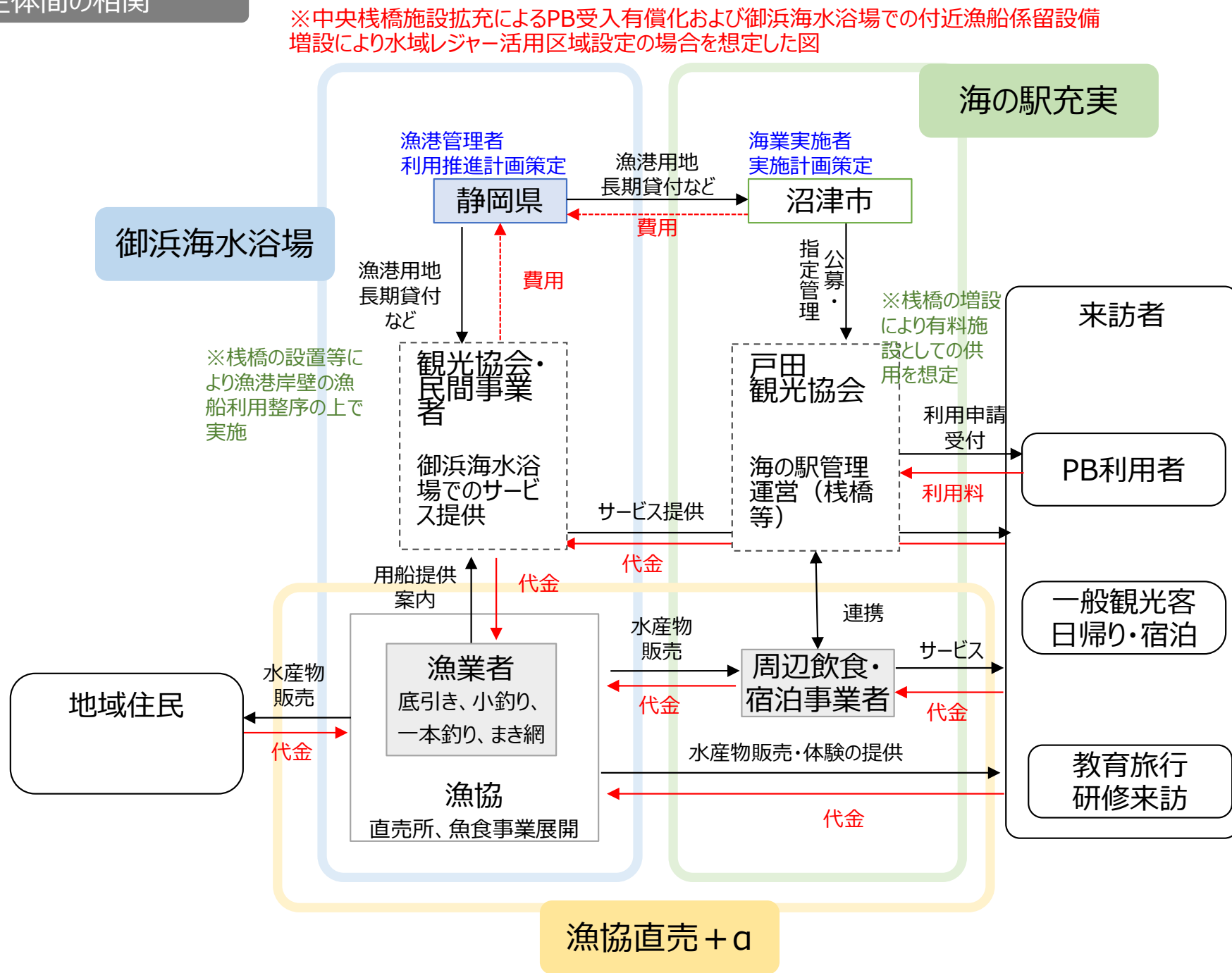
- ・漁業活力のある港でのほんものの魚、ほんものの体験を提供できる漁港としての差別化が可能
- ・漁業の価値に加えて海・山の自然、戸田の歴史的価値を加え、小さな港街として魅力が集約された強みを活用



海業で実施する事業の内容と体制案

令和5年度調査当時の内容であり、決定事項ではありません。

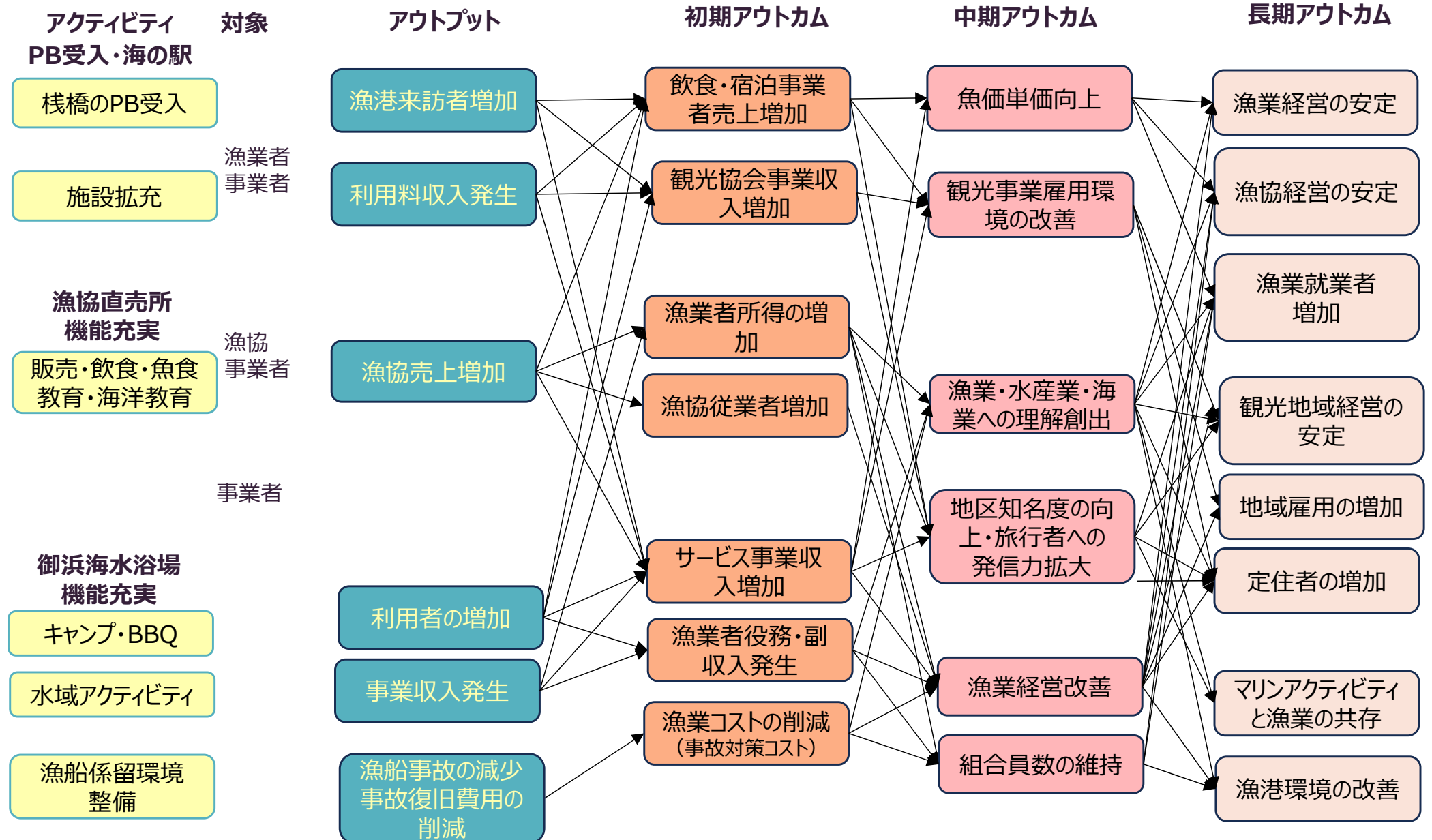
関係主体間の相関



期待される効果

令和5年度調査当時の内容であり、決定事項ではありません。

事業の効果



事業推進のためのステップ

①観光事業の推進

➡中央棧橋を拠点とするプレジャーボート受け入れの推進、漁協直売所の充実、御浜海水浴場の魅力向上。

②漁業操業・安全な係留環境の向上

➡漁船環境漁船係留のルール整理および、係留設備（浮棧橋など）の検討（安全性、静穏性向上の効果検証）。

③新たな漁港利用の可能性検討

➡漁船係留箇所の整序により、マリンレジャーでの活用水域の設定・活用可能内容の精査。漁業者による収入機会の確保と合わせて検討（監視船、用船など）。

事業名	事業主体	実現までの実施事項					実施時期									
		実施項目	概要	実施主体	活用したい支援事業	想定概算費用	短期					中期				
							R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
中央棧橋 周辺での 事業充実	戸田観光協会	施設提供・誘致	海の駅認定・発信強化	戸田観光協会	—	—	認定済・発信の強化									
		施設提供・誘致	PB、ヨット、大型クルーズ船誘致	周辺事業者	—	—	継続検討・実施									
		イベント展開	ヨットレースの充実	戸田観光協会	—	—	継続検討・実施									
漁協直売所 周辺での 事業充実	戸田漁業協同組合	魚食事業	直売所、漁業者、地域事業者連携による魚捌きや料理体験など魚食展開	戸田漁業協同組合	—	—	継続検討・実施									
		体験事業	魚食の他、漁業体験、漁業関連施設見学、漁船見学、水揚げ見学など	戸田漁業協同組合	—	—	継続検討・実施									
御浜エリア	民間事業者	BBQ、デイキャンプ事業	海水浴場用地を活用したBBQ、デイキャンプ	戸田漁業協同組合 民間事業者	—	—	継続検討・実施									
		水域アクティビティ	限定水域でのアクティビティ実施、漁業者による安全管理など	民間事業者	—	—	継続検討・実施									
		東大連携	地域内外の児童教育プログラム(サマーキャンプなど)、大学生によるフィールドスタディの実施	民間事業者	—	—	継続検討・実施									